

令和7年度第4回地域包括ケア応援セミナー



地域を動かす、未来の足。 ボランティアによる移動支援（サービス・活動A）

開催日時

令和8年 2月3日 火

参加費無料

13:30~16:00 (13:00~入室)

定員
300名

開催方法

オンライン (zoom)

対象

自治体職員、社会福祉協議会、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、介護事業者、ケアマネジャー、ボランティア活動に関心のある方 等

2040年に向けて85歳以上人口が増大し、地域の担い手が減少する見込みの中、多くの自治体で高齢者の移動手段の確保も重要な地域課題となっています。高齢者の一人暮らしは増加しており、身近に送迎を頼める人がいない、もしくはバス路線の削減、バス停までの道のりの歩行が困難など、高齢者は外出が不便な地域でも生活しており、移動を制限されている場合があります。

既存の公共交通機関による高齢者のニーズへの対応が難しい地域では、自治体および住民が高齢者の移動手段の確保を検討していく必要があります。地域の移動手段の確保課題を深く掘下げ、地域の実情に合った移動支援政策および事業が求められています。

本セミナーは、昨年度地域づくり加速化事業にて支援した埼玉県富士見市のボランティア活動支援（サービス・活動A）の事例をもとに高齢者の移動支援を考え、地域主体の取り組みの促進を後押しする目的で開催します。

プログラム

<第一部>

行政説明①「高齢者の移動手段を確保するために必要となる福祉や交通の制度、

事業モデルについて（仮）」

関東運輸局

行政説明②「介護予防・日常生活支援総合事業と移動支援について」

関東信越厚生局

講演：令和6年度地域づくり加速化事業参加自治体からの事例発表

埼玉県富士見市

<第二部>

基調講演：①令和6年度富士見市地域づくり加速化事業の振り返り

②「グリーンスローモビリティを活用した住民主体の移動支援（千葉県松戸市）」

松戸市高齢者支援課（課長補佐） 菊池 一氏

動画説明：富士見市活動の様子

埼玉県富士見市、菊池 一氏、厚生労働省、関東信越厚生局

申込方法

申込期間 令和8年1月28日（水）まで

以下のURLまたはQRコードから事前登録をお願いいたします。

<https://jmar-form.jp/localaccel2025.html>

※セキュリティ設定等で登録画面が表示されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

<主催>
厚生労働省 関東信越厚生局
健康福祉部 地域包括ケア推進課

<問い合わせ先>
株式会社 日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部
本件担当：佐藤・河野（カワノ）

 03-6435-7768